

第2回 ミドルステージ研修

令和5年10月26日(木)

講演 「遊びにおける学びと保育者の〇〇～その2」

講師 奈良教育大学 教授 廣瀬 聡弥氏

1. グループ討議① ドキュメンテーションについて

- ・第1回ミドルステージ研修からの学びを踏まえ作成したドキュメンテーションを持ち寄り、話し合う。
- ・グループ報告では、グループのドキュメンテーションのうち1つを選び、投影機で写して共有しながら報告する。

<討議内容と意見> 赤字：総評からのポイント

○ドキュメンテーション作成時に意識したこと

- ・遊びの様子が**分かりやすい**ように意識した。**→見ていただく工夫**
→子どもたちの今をピンポイントで示す。
- ・保育者の思いや10の姿を意識した。
- ・時短(15分~20分)で作成できるものにした。**→負担軽減**
- ・今している遊びの紹介や家庭で親子のコミュニケーションにつながるように材料や作り方などを記入した。
- ・子どもの声を大切にして作成した。
- ・協力している姿など発達を伝えた。
→発達を見通せる工夫



○ドキュメンテーション等を見られた保護者の様子や反応

- ・園や子どもの様子を知ることができ喜ばれた。
- ・子どもが家庭で話し、子どもと保護者の会話が増えた。
- ・「こんな遊びがあるんだ」と知ってもらえた。
- ・送迎時、子どもと一緒に見て下さった。

○保護者への発信に向けて、言葉や写真、レイアウトなど表現方法で工夫した点

- ・見やすいように、字は大きめで少なく、写真は多めにした。書式を決めて書いた。
- ・写真は、**子どもの表情や夢中になっている姿**が分かるものを選んだ。
- ・**ねらいや意図**、身につけさせたい力について、わかりやすく表現するようにした。
- ・伝えたいことが分かりやすい表現で書き表されているか、クラスの保育者間で話し合い、確認した。
→分かりやすい文章の工夫
- ・付箋を置いて貼れるようにし、保護者の声を聞けるようにしている。
- ・園と家庭で共有できるような文を入れた。
- ・子どもの発言やつぶやきを入れた。
- ・子どもも一緒に楽しめるように平仮名で書いた。
- ・ホームページに掲載した。

2. グループ討議② 自身の『遊びにおける学びと保育者の〇〇』について

- ・前回の研修での学びから、話し合いを深める。
- ・日頃どのような視点で保育をしているのか。どうしてこの遊びをドキュメンテーションに取り上げたのか、どんなところにトキメキ・ひらめきを感じ、保護者に発信したいと思っているのか。環境や今後の保育の展開(幼児期までに育ててほしい姿)をイメージしているのか。

○ドキュメンテーションにとりあげた意図
(ここを伝えたい!発信したい!との思い)

- ・パンピーノプランを踏まえて、今の子どもの育っているところを伝えたい。
- ・ドキドキ、ワクワクする場面。課題がある場面。
- ・遊び中での育ち・学びを伝える。
- ・子どもの気づきやつぶやき、考えを取り上げ、くり返し遊んでいる様子を伝える。



○日頃の保育の視点

- ・何に興味を持ち、学んでいるのか、どんなところを楽しんでいるのか。
- ・子どもの自主性を育てること。
- ・子どもと一緒に楽しんだり喜んだりし、子どもが「楽しかった」と満足できる。
- ・乳児なので、安心して生活できるように。→保護者の安心につながる。
- ・「できた」が経験できる。
- ・保育者の遊びの準備、環境を整えること。(タイミング)
- ・遊びが継続できるように。

○遊びにおける環境や今後の保育の展開

- ・子どもにも保護者にも分かりやすく内容を伝えて共有し、保護者と同じ方向性で子どもの育ちを支えられるようにする。
→家庭とのつながり。
- ・写真を子どもに選んでもらうと、子どもの思いや、おもしろいと感じているところが拾えるのではないか。
- ・遊びから得られる子どもの発見や展開につながるよう、見通しを持った環境作りをしていく。
→保育者の意図をもった環境構成。
- ・子どもの表情や身振り手ぶり(言葉にならない表現)をくみとる。
- ・いろいろなことを経験できる環境を作る。

3. 廣瀬先生の総評

- ・保護者に伝えたい事を明確に。
- ・こんなことをしていますよという活動を示す。この活動にどんな意味があるのかを示すことが大切。
- ・今後の発達を見通せる工夫。
- ・クラス全体の活動と個人の活動。個人のすごいところも大切にしていく。
- ・書式の統一。表し方の工夫。少ない写真で伝えたい事を厳選する工夫。

★「保育者の○○」に何が入ると思うか?

→ 視点、まなざし、気づき、見取り・理解・関わり・援助・環境・発言・質・・・

*学びを園に持ち帰り、積極的に広めていく。より良い保育に向けた質の向上につなげる。

【参加者の声・気づき】

- ・様々な様式のドキュメンテーションを見ることができて参考になり、伝え方や書き方の工夫、レイアウトの仕方、写真選びのポイントなど分かりやすく学べた。今後、意識しながら作成していきたい。
- ・自分とは違った視点での考え方を聞かせて頂き、具体的な子どもの姿や遊びを話し合うことができた。子ども理解が大事だということが大きな学びとなった。
- ・子どもの姿を見取ることやつぶやきをしっかり聞くことを大切にしていきたいと思った。
- ・保護者へ保育内容や子どもの育ちを知らせていくと共に自身の保育の振り返りにつながると感じた。